

モンゴル語における対応する能動文を有する受動文

梅谷博之

(Passive Sentences that Have Corresponding Active Sentences in Mongolian)

Hiroyuki UMETANI

(pp. 41-67)

Contribution to the Studies for Eurasian Languages series vol.15

『チュルク諸語における固有と外来に関する総合的調査研究』  
Native and Loan in Turkic Languages

九州大学人文科学研究院言語学研究室 Department of Linguistics, Graduate School of  
Kyushu University / ユーラシア言語研究コンソーシアム The Consortium for Studies of  
Eurasian Languages

2009 March

ISBN 978-4-903875-18-7

## モンゴル語における対応する能動文を有する受動文

梅谷 博之

(東京大学)

humejp@yahoo.co.jp

### 1. 本稿の目的

本稿<sup>1</sup>では、モンゴル語ハルハ方言<sup>2</sup>の受身接辞 *-GD* を伴う動詞 (GD 動詞) を扱う。GD 動詞が現れる文 (GD 動詞文) には、対応する能動文の存在が想定できるものと、できないものがある。前者の GD 動詞文に現れる GD 動詞を取り上げ、そのような GD 動詞は、ある特定の意味を表す動詞から派生したものに限られることを示す。

### 2. GD 動詞の概略

GD 動詞は多くの他動詞 (ただし全ての他動詞ではない) と、少数の自動詞から派生される。本稿で扱う GD 動詞は、他動詞から派生したものである。(GD 動詞の派生元の動詞を本稿では「能動動詞」と呼ぶ。) GD 動詞文には「能動対応の GD 動詞文」と「能動非対応の GD 動詞文」がある。能動対応の GD 動詞文(1a)では、行為主<sup>3</sup>を表す与位格名詞句 (*dajsand* 「敵に」) が現れ、また、対応する能動文(1b)を想定することができる。(本稿では、能動文の例を挙げる場合には、GD 動詞文の例に続けて出す。)

<sup>1</sup> 本稿は、梅谷 (2008) の一部 (1.5.1 節, 3.1 節, 3.6 節) に若干の加筆・修正を施したものである。

<sup>2</sup> 本稿ではモンゴル語の一方言であるハルハ方言を扱う。ハルハ方言は、モンゴル国の首都ウランバートルを中心に話されており、モンゴル国の共通語としての役割を果たしている。基本的な語順は SOV である。膠着型の言語で、母音調和の現象がある。例文の表記はキリル文字による正書法に従い、ローマ字転写したものを用いる。a=a, б=b, в=v [β], г=g, д=d, е=je/jö, ё=jo, ж=ž [dʒ~tʃ], з=z [dz~ts], и=i, й=j, к=k, л=l [ɮ], м=m, н=n, о=o [ɔ], ө=ö [ø], п=p, р=r, с=s, т=t, у=u [ʊ], ү=ü [u], ф=f, х=x, ц=c [ts<sup>h</sup>], ч=č [tʃ<sup>h</sup>], ш=š [ʃ], ь=’’, ы=y [i:], ь=’, э=e, ю=ju/jü, я=ja。

<sup>3</sup> 本稿では、「行為」という語を広い意味で用いる。「行為」には、動作のほか、知覚、認識、感情、含有なども含まれるものとする。

- (1a) Bold dajsan-d olzlo-gd-son.  
 (男性) 敵-DAT 捕虜にする-PASS-VN.PAST  
 「ボルドは敵に捕虜に取られた」
- (1b) Dajsan Bold-yg olzol-son.  
 敵 (男性)-ACC 捕虜にする-VN.PAST  
 「敵はボルドを捕虜に取った」

「能動非対応の GD 動詞文」には、例えば(2a)が該当する。

- (2a) Ene ačaa arvan minutan-d ači-gd-san.  
 この 荷物 10 分-DAT 積む-PASS-VN.PAST  
 「この荷物は 10 分で積まれた」
- (2b) Bid ene ačaa-g arvan minutan-d ač-san.  
 我々 この 荷物-ACC 10 分-DAT 積む-VN.PAST  
 「私たちはこの荷物を 10 分で積んだ」

一般的に、荷物が自発的に積みあがる状況は想定されにくいので、(2a)では「積む」<sup>4</sup>という行為を行なった行為主の存在が含意されていると考えられる。しかし(2a)に行為主を表す与位格名詞句を加えた(2c)は許容されない。

- (2c) \*Ene ačaa bidend arvan minutan-d  
 この 荷物 我々.DAT 10 分-DAT  
**ači-gd-san.**  
 積む-PASS-VN.PAST  
 (この荷物は我々によって 10 分で積まれた)<sup>4</sup>

また、能動非対応の GD 動詞文には、行為主の存在が想定されないものも含まれる。(3)では、ある行為主が「川の水位」に働きかけた結果、水位が

---

<sup>4</sup> コンサルタントによって許容されなかった例を挙げる際には、訳文を丸括弧に入れて提示する。もちろん、当該の例は許容されない文であるから、丸括弧に提示した訳文の意味を表す訳ではない。「調査を行なう際に、当該の文を、丸括弧内に示した意味で解釈できるかどうかをコンサルタントに尋ねた」という意味である。

上がったことが表されているのではなく、水位が自ずと上がったことが表されている。このような GD 動詞文に対応する能動文を想定することはできない<sup>5</sup>。

- (3) Tuul gol-yn usn-y tövšin ix  
 (地名) 川-GEN 水-GEN 水準 多い  
 neme-gd-sen baj-na.  
 増やす-PASS-VN.PAST いる-TV.NP  
 「トーラ川の水位が大きく上昇した」

<sup>5</sup> 本稿は能動非対応の GD 動詞文について考察するものではないので、本文では触れなかったが、能動非対応の GD 動詞文には、「原因等を表す与位格名詞句が現れるが、対応する能動文を想定することができないもの」もある。例として次の(a)が挙げられる。

- (a) Ene sandal tooson-d dara-gd-san baj-na.  
 この いす 埃-DAT 漬ける-PASS-VN.PAST いる-TV.NP  
 「このいすは埃に埋まっている」(埃まみれになっている)

(a)は「主語+与位格名詞句+GD 動詞」という構文をとっている。この構文は、能動対応の GD 動詞文がとるものと同じである。しかし、(a)の与位格名詞句を主語にした能動文(b)は許容されず、(a)に対応する能動文を想定することはできない。

- (b) \*Ene sandl-yg toos dar-san baj-na.  
 この いす-ACC 埃 漬ける-VN.PAST いる-TV.NP  
 (埃がこのいすを埋めている)

なお、(a)の *toosond* 「埃に」を与位格のままを用いた次の能動文も許容されない。

- (c) \*Ene sandl-yg tooson-d dar-san baj-na.  
 この いす-ACC 埃-DAT 漬ける-VN.PAST いる-TV.NP  
 ( (誰かが) このいすを埃に埋めてある)

Dixon and Aikhenvald (2000: 7) では、動詞の結合価を減らす派生 (valency-reducing derivation) として(i)受身と逆使役 (passive and anticausative), (ii) 逆受動 (antipassive), (iii)再帰と相互 (reflexive and reciprocal) を挙げている。Dixon and Aikhenvald の分類では、(i)の受身はさらに、典型的な受身(prototypical passive)と行為主非表示の受身 (agentless passive) に分けられる。「典型的な受身」とは、能動文での行為主を表す名詞句が受動文中で周縁的な項となり、現れることもできるが現れない場合もあるものを指す。「行為主非表示の受身」とは、行為主を表す名詞句が現れることができないが、その存在が意味的に含意される受動文である。「逆使役」とは、行為主を表す名詞句が現れず、かつ行為主の存在も含意されないものである。

Dixon and Aikhenvald のこの分類に従えば、能動対応の GD 動詞文は、「典型的な受身」にあてはまることになる。そして、能動非対応の GD 動詞文のうち、例(2a)は「行為主非表示の受身」に、例(3)は「逆使役」に該当することになる。

能動対応の GD 動詞文と能動非対応の GD 動詞文を比べると、前者の用例はそれほど多くはない。

### 3. 先行研究

どのような場合に能動対応の GD 動詞文が可能であるかを記述した先行研究として、Sanžeev (1963) と呉人徳司 (2006) が挙げられる。

本稿の「能動対応の GD 動詞文」と「能動非対応の GD 動詞文」の分類は Sanžeev (1963) が提示する「完全受身使用」と「制限受身使用」にほぼ対応する。（「能動対応の GD 動詞文」は Sanžeev の「完全受身使用」に対応し、「能動非対応の GD 動詞文」は Sanžeev の「制限受身使用」にほぼ対応する。）

Sanžeev (1963: 44-45) は「行為主-行為対象の可逆性」(субъектно-объектная обратимость) という概念を用いて、能動文から受動文が派生される可能性、および受動文がとる構造の違いを説明している：「馬が牛を驚かせる」という文の行為主と行為の対象を入れ替えて「牛が馬を驚かせる」としても文が成り立つ。このような入れ替えの可能性を「行為主-行為対象の可逆性」と呼び、「行為主-行為対象の可逆性」が成り立つ場合には能動文から「自由に」受動文が派生される傾向がある（すなわち「完全受身使用」で用いられる）としている。一方「行為主-行為対象の可逆性」が成り立たない場合には、行為主を表す与位格名詞句が現れることができない受動文が派生される<sup>6</sup>（「制限受身使用」）か、そもそも受動文が派生されない傾向<sup>7</sup>があることを指摘している。ただし、Sanžeev (1963: 45) が自ら指摘

<sup>6</sup> Sanžeev の「制限受身使用」は、対応する能動文を一応想定することができるものの、行為主を表す与位格名詞句が現れることのできない例(2a)のような GD 動詞文を指している。「制限受身使用」に、行為主の存在を想定することができない GD 動詞文(例(3))が含まれるかどうかは明らかでない。なお、Sanžeev の「制限」という語は次の現象を指しているものと思われる：能動文(2b)から受動文(2a)が派生されるという立場に立てば、(2b)で現れている行為主を表す名詞句が、(2a)では現れない点で、能動文・受動文の対応が一部限られている。

<sup>7</sup> Sanžeev は、能動文から受動文が全く派生されないことを「ゼロ受身使用」と呼んでいる。その例として、次の(a)から(b)が派生されないことを挙げている。（ラテン文字転写、形態分析、グロス、訳文は梅谷による。）

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| (a)   Caj-g           uu-v. | (b)   *Caj           uu-gda-v. |
| お茶-ACC 飲む-TV.PAST           | お茶 飲む-PASS-TV.PAST             |
| 「お茶を飲んだ」                    | (お茶が飲まれた)                      |

するように<sup>8</sup>、これは大まかな「傾向」であるに過ぎず、この指摘に合致しない例も多くある<sup>9</sup>。

次に呉人 (2006) を取り上げる。モンゴル語では使役接辞 *-UUL* により派生した動詞が、受身の意味を表す場合がある。使役接辞 *-UUL* は本稿の考察範囲を越えるので詳説はしないが、使役接辞 *-UUL* により派生した動詞が表す受身と、GD 動詞が表す受身にどのような違いがあるかを論じた先行研究がいくつかある。そうした研究の一つである呉人 (2006) では、能動対応の GD 動詞文について、次のような傾向があることを述べている<sup>10</sup>。(以下の引用文中の、例文番号、例文の表記、グロスとは本稿にあわせて変更した。例文中の太字による強調は梅谷による。訳文は引用元のまま。また、引用文中の「被動者」「動作主」はそれぞれ本稿の「行為の対象」「行為主」に該当する。)

[...] 受身表現を表わすのに、以下の2つの状況では、使役の接辞ではなく、受身の接辞が用いられる傾向がある。

1) ある事象に対して、被動者 (patient) が動作主 (agent) の行なう動作・行為を自分の意思ではコントロールできない場合は、その動作を表わす動詞語幹に使役の接辞 *-uul/-üül*、*-lg(a)/-lg(e)* ではなく、受身の接辞 *-gd(a)/-gd(e)* が用いられる。

以下の2例はハルハ方言のものであるが、cf. のように、使役接辞を用いる場合は成立しない。

<sup>8</sup> 「行為主—行為対象の可逆性」が成り立つ場合でも、完全受身使用にならない場合があることを指摘する先行研究には、他に Galsan (1975: 230) などがある。

<sup>9</sup> 「行為主—行為対象の可逆性」が成り立つ場合には必ず「完全受身使用」(すなわち、本稿の「能動対応の GD 動詞文」) が可能になるわけではない。その例として次のことが挙げられる。Sanžeev の記述を厳密に適用すれば、*il-*「撫でる」、*zod-*「殴る」、*dajl-*「もてなす」、*tos-*「出迎える」といった、「行為主—行為対象の可逆性」が当てはまる動詞から GD 動詞が派生され、完全受身使用で用いられることになる。しかし、*il-* から派生した GD 動詞は完全受身使用では用いられない。また、*zod-*、*dajl-*、*tos-* からは GD 動詞がそもそも派生されない。

さらに、「完全受身使用」が可能であれば「行為主—行為対象の可逆性」が常に成り立つわけでもない。4.3 節、4.5 節、4.6 節で、能動対応の GD 動詞文として挙げる例には、「行為主—行為対象の可逆性」が当てはまらないものも多く含まれている。

<sup>10</sup> 呉人 (2006) では、能動対応の GD 動詞文と能動非対応の GD 動詞文の、どちら(あるいは両方)を考察の対象とするかについて述べていない。しかし、挙げている例文や論旨から判断すると、能動対応の GD 動詞文について考察しているものと思われる。

- (4) *ter xulgajč cagdaa-d bari-gda-san*  
 あの 泥棒 警察-DAT 捕まえる-PASS-VN.PAST  
 「あの泥棒が警察に捕まえられた」
- cf. \* *ter xulgajč cagdaa-d bari-uul-san*  
 あの 泥棒 警察-DAT 捕まえる-CAUS-VN.PAST
- (5) *bid dajsan-d büsle-gde-sen*  
 私たち 敵-DAT 包囲する-PASS-VN.PAST  
 「私たちは敵に包囲された」
- cf. \* *bid dajsan-d büsl-üül-sen*  
 私たち 敵-DAT 包囲する-CAUS-VN.PAST

(4)の被動者「泥棒」は動作主「警察」の「捕まえる」行為を、(5)の被動者「私たち」は動作主「敵」の「包囲する」行為を自分の意志でコントロールすることはできない。

2) 被動者が無意識的に動作主の感情的な動作・行為を受ける場合は、使役の接辞 *-uul/-üül*、*-lg(a)/-lg(e)*ではなく、もっぱら受身の接辞 *-gd(a)/-gd(e)*が用いられる。[...]

- (6) *Minij xüü ter ali-d golo-gda-san*  
 私の 息子 あの 家族-DAT 嫌う-PASS-VN.PAST  
 「私の息子があの家族に嫌われた」
- (7) *Bi ter gojo xüüxen-d tata-gda-san*  
 私 あの きれいな 女性-DAT 引く-PASS-VN.PAST  
 「私はあのきれいな女性に引かれた(魅力された)」
- (8) *ene xün xezeed xümüüs-d ad üze-gde-deg*  
 この 人 いつも 人々-DAT 悪魔 見る-PASS-VN.HAB  
 「この人はいつも人々に軽蔑される」

呉人 (2006: 88-89)

上記引用文中の2)の指摘は、4.5節で述べる本稿の観察と一致する。しかし、1)の指摘「被動者 (patient) が動作主 (agent) の行なう動作・行為を自分の意思ではコントロールできない」については、どのような状況であれば「コントロールできない」ものに該当するのかが明瞭ではないように思われる。例えば、次のGD動詞文(9a), (10a)はいずれも許容されない。

- (9a) \*Xar anxuj-d jav-ž baj-gaad xün-d  
 暗い-DAT 行く-CV.IMPF いる-CV.PERF 人-DAT  
 coxi-gdo-ž ojč-son.  
 叩く-PASS-CV.IMPF 転ぶ-VN.PAST  
 (暗闇の中を歩いていたら、誰かに叩かれて転んだ)
- (9b) Xar anxuj-d jav-ž baj-san čin'  
 暗い-DAT 行く-CV.IMPF いる-VN.PAST 2ND.POSS  
 neg xün namajg cox'-son.  
 I 人 私.ACC 叩く-VN.PAST  
 「暗闇の中を歩いていたら、誰かが私を叩いた」
- (10a) \*Bi Dulmaa-d xutgala-gd-san.  
 私 (女性)-DAT 刺す-PASS-VN.PAST  
 (私はドルマーに刺された)
- (10b) Dulmaa namajg xutgal-san.  
 (女性) 私.ACC 刺す-VN.PAST  
 「ドルマーは私を刺した」

(9a), (10a)で表そうとした状況において、被動者（主語名詞句の指示対象）が動作主（与位格名詞句の指示対象）の行なう動作・行為を、コントロールできていないとみなすことも可能である。例えば、(9a)を例にとると、「私」（これを表す名詞句は(9a)には現れていない）は暗闇にいるので、周りにいる人の動きを把握していないと考えられる。この意味では、(9a)の状況は「被動者（私）が動作主（私を叩いた人）の行なう動作・行為を自分の意思ではコントロールできない」状況であると考えられる。呉人の主張によると、そのような状況は能動対応のGD動詞文で表すことができることになる。しかし実際には、(9a)は許容されない。

呉人 (2006) は、「-UULにより派生した動詞が現れる文」と「能動対応のGD動詞文」を比較し、両者の相対的な違いを記述することに主眼を置いていると思われるため、上に述べたことをもって呉人の記述に対する批判とするのは筋違いではあるが、どのような場合に能動対応のGD動詞文が可能であるかを記述するためには、別の観点が必要であると思われる。

本稿では、本節で挙げた先行研究の記述とは異なる次の指摘を行なう：能動対応のGD動詞文で現れるGD動詞は、ある特定の意味を表す能動動詞から派生したものに限られる。



#### 4. 能動対応の GD 動詞文に現れる GD 動詞

すぐ上(第3節末尾)で述べたように、筆者の観察では、能動対応の GD 動詞文で用いられる GD 動詞は、ある特定の意味を表す能動動詞から派生したものに限られる。具体的には以下の(A)~(F)の意味を表す能動動詞から派生した GD 動詞が、能動対応の GD 動詞文で用いられることが分かっている<sup>11</sup>。(ただし、(A)~(F)に分類できないものも少数ある。)なお、(A)~(F)の分類は、必ずしも互いに排他的なものではない。(A)~(F)のいずれかに分類される GD 動詞が、別の項目にも該当する場合がある。また、(A)~(F)の分類は現段階で筆者が得ているデータに基づいて行なったものである。今後新たに例文が見つければ、(A)~(F)以外に新しい項目を立てることが必要になる。

- (A) 勢力下に置くことを表す能動動詞
  - (A-1) 拿捕・拘束することを表す能動動詞
  - (A-2) 支配することを表す能動動詞
  - (A-3) 勝利することを表す能動動詞
  - (A-4) 騙すことを表す能動動詞
- (B) 召喚、追放することを表す能動動詞
- (C) 包囲・包含することを表す能動動詞
- (D) 殺害することを表す能動動詞
- (E) 価値判断を下すこと、感情を抱くことを表す能動動詞
- (F) 知覚・認識を表す能動動詞

以下、4.1~4.6節で、(A)~(F)の用例を見ていくことにする。(A)~(F)に分類できないものは4.7節で見る。)

##### 4.1. 勢力下に置く

「行為の対象を拿捕・拘束することを表す能動動詞」「行為の対象を支配することを表す能動動詞」「行為の対象に勝利することを表す能動動詞」「行為の対象を騙すことを表す能動動詞」から派生した GD 動詞は能動対応の GD 動詞文で用いられる。これらの能動動詞は、行為主が行為の対象

<sup>11</sup> 脚注2で述べたように、本稿ではハルハ方言を扱う。第4節で、許容されるものとして挙げるハルハ方言の例は、他の方言では許容されない可能性もある。また、ハルハ方言では許容されない例が、他の方言では許容される可能性もある。

よりも優位に立ち、行為の対象を制することを表す点で「行為の対象を勢力下に置くことを表す能動動詞」としてまとめることができる。以下、それぞれの例を4.1.1～4.1.4節で挙げる。

#### 4.1.1. 拿捕・拘束

「勢力下に置くことを表す能動動詞」から派生した GD 動詞の下位分類として、「拿捕・拘束することを表す能動動詞」から派生したものが挙げられる。

- (11a) Ter kompani-jn zaxirl-yn xüüxed xeseg  
 その 会社-GEN 長-GEN 子供 グループ  
 zaluu-čuuda-d **bar'caala-gd-san.**  
 若者-PL-DAT 質に取る-PASS-VN.PAST  
 「その会社の社長の子供は、何人かの若者に人質に取られた」
- (11b) Ter kompani-jn zaxirl-yn xüüxd-ijg xeseg  
 その 会社-GEN 長-GEN 子供-ACC グループ  
 zaluu-čuud **bar'caal-san.**  
 若者-PL 質に取る-VN.PAST  
 「その会社の社長の子供を、何人かの若者が人質に取った」
- (12a) Bat-yn xüüxed gemt xeregten-d **xulgajla-gd-san.**  
 (男性)-GEN 子供 犯罪者-DAT 盗む-PASS-VN.PAST  
 「バトの子供は犯人に誘拐された」
- (12b) Gemt xeregten Bat-yn xüüxd-ijg **xulgajl-san.**  
 犯罪者 (男性)-GEN 子供-ACC 盗む-VN.PAST  
 「犯人はバトの子供を誘拐した」
- (13a) Manaj cerg-ijn darga dajsan-d **olzlo-gd-son.**  
 我が 兵-GEN 長 敵-DAT 捕虜にする-PASS-VN.PAST  
 「我が軍の隊長は敵に捕虜にされた」
- (13b) Dajsan manaj cerg-ijn darg-yg **olzol-son.**  
 敵 我が 兵-GEN 長-ACC 捕虜にする-VN.PAST  
 「敵は我が軍の隊長を捕虜にした」

この他、次のものがここに分類される。

(14)

barivčil-「逮捕する」 > barivčla-gd-「逮捕される」  
 bar'-「捕える」 > bari-gd-「捕えられる」

## 4.1.2. 支配

「勢力下に置くことを表す能動動詞」から派生した GD 動詞の 2 番目の下位分類として、「支配することを表す能動動詞」から派生したものが挙げられる。ここには *zaxir-*「支配する」、*ezel-*「占領する」、*but cox'-*<sup>12</sup>「制圧する、壊滅させる」から派生した GD 動詞が分類される。

- (15a) Ünsen xuulijn cec bol zövxön Ünsen xuul'-d  
 憲法裁判所 FP 唯一 憲法-DAT  
**zaxira-gd-dag.**  
 支配する-PASS-VN.HAB  
 「憲法裁判所は憲法のみ支配される」
- (15b) Ünsen xuulijn cec-ijg zövxön Ünsen xuul' **zaxir-dag.**  
 憲法裁判所-ACC 唯一 憲法 支配する-VN.HAB  
 「憲法裁判所は憲法のみが支配する」
- (16a) Altan uls Čingis xaan-d **ezle-gd-sen.**  
 金国 チンギスハーン-DAT 占領する-PASS-VN.PAST  
 「金国はチンギスハーンに占領された」
- (16b) Čingis xaan Altan uls-yg **ezel-sen.**  
 チンギスハーン 金国-ACC 占領する-VN.PAST  
 「チンギスハーンは金国を占領した」

<sup>12</sup> *cox'-* は単独では「叩く」という意味を表すが、*but* 「粉々に」と共に用いられて「制圧する、壊滅させる」という意味を表す。*but* は preverb と呼ばれるもので、副詞に似た機能を果たす。ただし、preverb は動詞の直前だけに現れるなど、副詞とは異なる特徴も持つ。副詞と preverb の違いについては Bese (1968: 226-230) に詳しい。なお、*but cox'-* は 4.1.3 節に分類することもできそうである。

- (17a) Manaj cerg-üüd dajsn-y cerg-üüde-d  
 我が 兵-PL 敵-GEN 兵-PL-DAT  
**but coxi-gd-son.**  
 粉々に 叩く-PASS-VN.PAST  
 「我が軍は敵軍に制圧された」
- (17b) Dajsn-y cerg-üüd manaj cerg-üüd-ijg  
 敵-GEN 兵-PL 我が 兵-PL-ACC  
**but cox<sup>7</sup>-son.**  
 粉々に 叩く-VN.PAST  
 「敵軍は我が軍を制圧した」

#### 4.1.3. 勝利

「勝つ」という意味を表す *xož-*, *jal-*, *dijl-* から派生した GD 動詞も、「勢力下に置くことを表す能動動詞」から派生した GD 動詞の下位分類として挙げられる。

- (18a) Dorž Bata-d šatr-aar xoži-gd-son.  
 (男性) (男性)-DAT チェス-INST 勝つ-PASS-VN.PAST  
 「ドルジはバトにチェスで負けた」
- (18b) Bat Dorž-ijg šatr-aar xož-son.  
 (男性) (男性)-ACC チェス-INST 勝つ-VN.PAST  
 「バトはドルジにチェスで勝った」
- (19a) Bat olon uls-yn temceen-d Oros-yn  
 (男性) 国際-GEN 試合-DAT ロシア-GEN  
 tamirčin-d jala-gd-san.  
 選手-DAT 勝つ-PASS-VN.PAST  
 「バトは国際試合でロシアの選手に負けた」
- (19b) Olon uls-yn temceen-d Oros-yn tamirčin  
 国際-GEN 試合-DAT ロシア-GEN 選手  
 Bat-yg jal-san.  
 (男性)-ACC 勝つ-VN.PAST  
 「国際試合でロシアの選手がバトに勝った」

- (20a) Dorž      Boldo-d      **dijle-gd-sen.**  
 (男性)      (男性)-DAT      勝つ-PASS-VN.PAST  
 「ドルジはボルドに負けた」
- (20b) Bold      Dorž-ijg      **dijl-sen.**  
 (男性)      (男性)-ACC      勝つ-VN.PAST  
 「ボルドはドルジに勝った」

#### 4.1.4. 欺瞞

人を騙すことを表す能動動詞から派生した GD 動詞も、能動対応の GD 動詞文で用いられる。ここに該当する GD 動詞も、4.1.1~4.1.3 節で見たものと同様、「勢力下に置くことを表す能動動詞」から派生した GD 動詞として分類できる。

- (21a) Tujaa      Bata-d      **urxila-gd-san.**  
 (女性)      (男性)-DAT      罠にかける-PASS-VN.PAST  
 「トヤーはバトに騙された (バトの術中にはまった)」
- (21b) Bat      Tujaa-g      **urxil-san.**  
 (男性)      (女性)-ACC      罠にかける-VN.PAST  
 「バトはトヤーを騙した」

この他、以下のものがここに分類される。なお、コンサルタントによっては、*ašigla-*「(人)を利用する」から派生した GD 動詞は、能動対応の GD 動詞文では用いられないと報告する者もいる。そのため、括弧に入れて示した。

- (22)  
 mexel-「騙す」      >mexle-gd-「騙される」  
 (ašigla-「(人)を利用する」)      (>ašigla-gd-「(人が)利用される」)

#### 4.2. 召喚・追放

*ur'-*「招待する」、*duud-*「呼び寄せる」、*tuu-*「追い立てる」、*xöö-*「追い出す」、*xaja-*「見捨てる」から派生した GD 動詞がここに分類される。これらの動詞は、人を召喚・追放することを表す能動動詞から派生した GD 動詞としてまとめることができる。

- (23a) Tujaa Bata-d uri-gd-san.  
 (女性) (男性)-DAT 招待する-PASS-VN.PAST  
 「トヤーはバトに招待された」
- (23b) Bat Tujaa-g ur'-san.  
 (男性) (女性)-ACC 招待する-VN.PAST  
 「バトはトヤーを招待した」
- (24a) Bat-yn eež Bat-yn surguuli-jn zaxiral-d  
 (男性)-GEN 母 (男性)-GEN 学校-GEN 長-DAT  
**duuda-gd-san.**  
 呼ぶ-PASS-VN.PAST  
 「バトの母親はバトの学校の校長先生に呼び出された」
- (24b) Bat-yn surguuli-jn zaxiral Bat-yn eež-ijg  
 (男性)-GEN 学校-GEN 長 (男性)-GEN 母-ACC  
**duud-san.**  
 呼ぶ-VN.PAST  
 「バトの学校の校長先生はバトの母親を呼び出した」
- (25a) Tedgeer xorigdl-uud xargalzagč cagdaa-d  
 それら 囚人-PL 看守-DAT  
**tuu-gd-aad** bajran-d-aa or-son.  
 追う-PASS-CV.PERF 建物-DAT-REFL 入る-VN.PAST  
 「その囚人たちは看守に(後ろから)追い立てられて建物に入った」
- (25b) Xargalzagč cagdaa tedgeer xorigdl-uud-yg **tuu-gaad**  
 看守 それら 囚人-PL-ACC 追う-CV.PERF  
 bajran-d n' or-uul-san.  
 建物-DAT 3RD.POSS 入る-CAUS-VN.PAST  
 「看守はその囚人たちを(後ろから)追い立てて建物に入れた」
- (26a) Bat Tujaa-d xöö-gd-sön.  
 (男性) (女性)-DAT 追う-PASS-VN.PAST  
 「バトはトヤーに追い出された」
- (26b) Tujaa Bat-yg xöö-sön.  
 (女性) (男性)-ACC 追う-VN.PAST  
 「トヤーはバトを追い出した」

- (27a) Bold Tujaa-d xaja-gd-san.  
 (男性) (女性)-DAT 捨てる-PASS-VN.PAST  
 「ボルドはトヤーに見捨てられた」
- (27b) Tujaa Bold-yg xaja-san.  
 (女性) (男性)-ACC 捨てる-VN.PAST  
 「トヤーはボルドを見捨てた」(能動動詞 *xaja-* は「(物を)捨てる」という意味も表す。しかし GD 動詞 *xaja-gd-* は、「物が捨てられる」という意味では能動対応の GD 動詞文では用いられず、その意味では能動非対応の GD 動詞文で用いられる。)

#### 4.3. 包囲・包含

*xavč-*「挟む」, *šax-*「(混雑した場所で人が人を)押す」, *büsel-*「囲む」, *aguul-*「含む」から派生した GD 動詞がここに分類される。

- (28a) Deer-ees kompani-jn darga, door-oos ažilčda-d  
 上-ABL 会社-GEN 長 下-ABL 従業員.PL-DAT  
**xavči-gd-san** örövdöltej am'tan.  
 挟む-PASS-VN.PAST 可哀想な 動物  
 「上からは上司, 下からは部下に挟まれた, 可哀想な人だ」(課長という中間管理職の立場について)
- (28b) Deer-ees kompani-jn darga tušaal  
 上-ABL 会社-GEN 長 命令  
 buu-lga-ž, door-oos ažilčid gomdol  
 下りる-CAUS-CV.IMPF 下-ABL 従業員.PL 不平  
 garga-n xelts-ijn darg-yg xavč-dag.  
 出す-CV.ASS 課-GEN 長-ACC 挟む-VN.HAB  
 「上からは上司が命令を下し, 下からは部下が不平を言い, 課長を板ばさみにする」
- (29a) Dajsn-y baaz manaj armi-d büsle-gd-sen.  
 敵-GEN 基地 我が 軍-DAT 囲む-PASS-VN.PAST  
 「敵の基地は我が軍によって囲まれた」
- (29b) Manaj armi dajsn-y baaz-yg büsel-sen.  
 我が 軍 敵-GEN 基地-ACC 囲む-VN.PAST  
 「我が軍は敵の基地を囲んだ」

- (30a) Bold-yn xel-sen ügen-d<sup>13</sup> delxij dajaar  
 (男性)-GEN 言う-VN.PAST 言葉-DAT 世界 ~じゅうで  
 enx tajvn-aar orši-n togtno-x  
 平和-INST 位置する-CV.ASS 確立する-VN.NP  
 utga sanaa **aguula-gda-ž** baj-na.  
 意味 意図 含む-PASS-CV.IMPF いる-TV.NP  
 「ボルドの言った言葉には、世界が平和であるようにという意  
 味が含まれている」
- (30b) Bold-yn xel-sen üg delxij dajaar  
 (男性)-GEN 言う-VN.PAST 言葉 世界 ~じゅうで  
 enx tajvn-aar orši-n togtno-x  
 平和-INST 位置する-CV.ASS 確立する-VN.NP  
 utga sanaa-g **aguul-ž** baj-na.  
 意味 意図-ACC 含む-CV.IMPF いる-TV.NP  
 「ボルドの言った言葉は、世界が平和であるようにという意味  
 を含んでいる」
- (31a) Bi avtobusan-d xümüüs-t šaxa-gd-aad  
 私 バス-DAT 人.PL-DAT 押す-PASS-CV.PERF  
 doktor muuxajr-čix-laa.  
 中 悪くなる-COMP-TV.PAST  
 「私はバスの中で人々に押されて気持ちが悪くなってしまった」
- (31b) Avtobusan-d xümüüs namajg ix šax-san  
 バス-DAT 人.PL 私.ACC 多い 押す-VN.PAST  
 učir minij doktor muuxajr-čix-laa.  
 ~ので 私.GEN 中 悪くなる-COMP-TV.PAST  
 「バスの中で人々が私を強く押したので気持ちが悪くなってし  
 まった」

<sup>13</sup> 脚注3で述べたように、本稿では「行為」という語を広い意味で用いる。「行為」という語のこうした使い方に従えば、例(30a)の *ügend* も「行為主」を表すということになる。もっとも、例(30a)の *ügend* は「行為主」というよりは「位置」を表しているといったほうがより正確である。記述をさらに進めていく際には、GD 動詞文中の与位格名詞句の意味役割を詳しく検討する必要があるが、議論の一貫性を保つために、本稿では例(30a)の *ügend* も「行為主」を表すとしておく。なお、例(30a)の *ügend* を「行為主」と呼んでも本稿の結論には影響しない。



なお, *šax-* には「(圧縮して) 搾る」という意味もあるが, その意味に対応する GD 動詞は能動対応の GD 動詞文では用いられず, 能動非対応の GD 動詞文で用いられる。次の(32a)を参照。

- (32a) Ene bjaslag sajn **šaxa-gd-aa-güj** baj-na.  
 この チーズ 良い 搾る-PASS-VN.IMPF-NEG いる-TV.NP  
 「このチーズは良く搾られていない」(チーズを作る際に, チーズの水分を出す作業を行なう。この文は, まだ水分が十分に  
 出ていない状態を表している。)
- (32b) Ene bjaslag-ijg sajn **šax-aa-güj** baj-na.  
 この チーズ-ACC 良い 搾る-VN.IMPF-NEG いる-TV.NP  
 「このチーズはよく搾っていない」

#### 4.4. 殺害

殺害することを表す能動動詞から派生した GD 動詞は, 能動対応の GD 動詞文で用いられる。

- (33a) Ter xün 15 nastaj oxin-d-oo  
 その 人 歳の 娘-DAT-REFL  
**xorlo-gd-son.**  
 害する-PASS-VN.PAST  
 「その人は 15 歳の娘に殺された」
- (33b) Ter xün-ijg 15 nastaj oxin n' **xorlo-son.**  
 その 人-ACC 歳の 娘 3RD.POSS 害する-VN.PAST  
 「その人を 15 歳の娘が殺した」
- (34a) Tujaa sogtuu najz-d-aa **ala-gd-san.**  
 (女性) 酔っ払った 友達-DAT-REFL 殺す-PASS-VN.PAST  
 「トヤーは酔っ払った友達に殺された」
- (34b) Tujaa-gijn sogtuu najz Tujaa-g **al-san.**  
 (女性)-GEN 酔っ払った 友達 (女性)-ACC 殺す-VN.PAST  
 「酔っ払ったトヤーの友達がトヤーを殺した」

- (35a) Ter xün mafī-d arči-gd-san  
 その 人 マフィア-DAT 消す-PASS-VN.PAST  
 ge-sen jaria baj-san.  
 言う-VN.PAST 話 ある-VN.PAST  
 「その人はマフィアに消されたという噂があった」
- (35b) Mafi ter xün-ijg arč-san ge-sen  
 マフィア その 人-ACC 消す-VN.PAST 言う-VN.PAST  
 jaria baj-san.  
 話 ある-VN.PAST  
 「マフィアがその人を消したという噂があった」

なお、能動動詞 *arč-* は、「(文字などを)消す」や「(机などを)拭く」という意味も表す。GD 動詞 *arči-gd-* は、「(文字などが)消える」「(机などが)拭かれる」という意味では、能動非対応の GD 動詞文で用いられる。( *arči-gd-* は「殺される」という意味でのみ能動対応の GD 動詞文で用いられる。)

- (36a) Sambar deer bič-sen üsegn-üüd  
 黒板 上 書く-VN.PAST 文字-PL  
 arči-gd-san baj-san.  
 消す-PASS-VN.PAST いる-VN.PAST  
 「黒板に書いた文字は消されていた」
- (36b) Sambar deer bič-sen üsegn-üüd-ijg  
 黒板 上 書く-VN.PAST 文字-PL-ACC  
 arč-san baj-san.  
 消す-VN.PAST いる-VN.PAST  
 「黒板に書いた文字は(誰かが)消してしまっていた」

#### 4.5. 価値判断・感情

仕事内容、人の属性や能力、ものの性質に対して評価を下すことを表す能動動詞から派生した GD 動詞、及び、人に対してある感情を抱くことを表す能動動詞から派生した GD 動詞は、能動対応の GD 動詞文で用いられる。

- (37a) Tujaa-gijn xij-sen ažil darga-d  
 (女性)-GEN する-VN.PAST 仕事 長-DAT  
**ünele-gd-sen.**  
 評価する-PASS-VN.PAST  
 「トヤーのした仕事は上司に評価された」
- (37b) Darga Tujaa-gijn xij-sen ažil-yg  
 長 (女性)-GEN する-VN.PAST 仕事-ACC  
**ünel-sen.**  
 評価する-VN.PAST  
 「上司はトヤーのした仕事を評価した」
- (38a) Tany xeln-ij medleg manaj zaxiral-d  
 あなた.GEN 言語-GEN 知識 我が 長-DAT  
**čamla-gda-x bajx aa.**  
 不満に思う-PASS-VN.NP MP MP  
 「あなたの外国語の知識はうちの社長には認められないだろう」
- (38b) Tany xeln-ij medleg-ijg manaj zaxiral  
 あなた.GEN 言語-GEN 知識-ACC 我が 長  
**čamla-x bajx aa.**  
 不満に思う-VN.NP MP MP  
 「あなたの外国語の知識をうちの社長は認めないだろう」
- (39a) Minij garga-san ter sanal darga-d  
 私.GEN 出す-VN.PAST その 提案 長-DAT  
**xüleen zövšöörö-gd-sön.**  
 承認する-PASS-VN.PAST  
 「私の出したその提案は上司に承認された」
- (39b) Darga minij garga-san ter sanal-yg  
 長 私.GEN 出す-VN.PAST その 提案-ACC  
**xüleen zövšöör-sön.**  
 承認する-VN.PAST  
 「上司は私の出したその提案を承認した」

- (40a) 1921 on-d Süxbaatar xuv'sgal-yn baatr-aar  
 年-DAT (人名) 革命-GEN 英雄-INST  
 Mongol-yn ard tümen-d örgömžlō-gd-sön.  
 モンゴル-GEN 人民-DAT 崇め奉る-PASS-VN.PAST  
 「1921年にスフバートルは革命の英雄としてモンゴル人民に  
 奉られた」
- (40b) 1921 on-d Mongol-yn ard tümen Süxbaatar-yg  
 年-DAT モンゴル-GEN 人民 (人名)-ACC  
 xuv'sgal-yn baatr-aar örgömžil-sön.  
 革命-GEN 英雄-INST 崇め奉る-VN.PAST  
 「モンゴル人民は 1921年にスフバートルを革命の英雄として  
 奉った」

なお、能動動詞 *örgömžil-* は「崇め奉る」という意味のほか、「奉ずる、任ずる」という意味でも用いられる。GD 動詞 *örgömžlō-gd-* は、「崇め奉られる」という「感情を抱かれる」意味では能動対応の GD 動詞文で用いられるが、「奉じられる、任ぜられる」という意味では能動対応の GD 動詞文では用いられない。(能動非対応の GD 動詞文で用いられる。)

- (41a) \*Bogd 1914 on-d tuxajñ üje-ijn bajad  
 (人名) 年-DAT 当該の 時期-GEN 富豪.PL  
 nojoduuda-d Mongol Uls-yn xaan-aar  
 貴族.PL-DAT モンゴル国-GEN 王-INST  
 örgömžlō-gd-sön.  
 任ずる-PASS-VN.PAST  
 (ボグドは 1914年に当時の富豪・貴族たちにモンゴル国王に  
 任じられた) (*tuxajñ üjeijn bajad nojoduudad* 「当時の富豪・貴  
 族たちに」という句を消去すれば許容される文となる。)
- (41b) 1914 on-d tuxajñ üje-ijn bajad nojoduud  
 年-DAT 当該の 時期-GEN 富豪.PL 貴族.PL  
 Bogd-yg Mongol Uls-yn xaan-aar örgömžil-sön.  
 (人名)-ACC モンゴル国-GEN 王-INST 任ずる-VN.PAST  
 「1914年に当時の富豪・貴族たちはボグドをモンゴル国王に任  
 じた」

この他、以下のものがここに分類される<sup>14</sup>。

(42)

gol- 「(人の能力・物の価値を) 低く見積もる」	>golo-gd- 「(人の能力・物の価値 が) 低く見積もられる」
gutaa- 「(人の名誉を) 貶める」	>gutaa-gd- 「(人の名誉が) 貶められる」
muučil- 「(人に対して) 辛く あたる」	>muučla-gd- 「(人が) 辛くあたら れる」
sežigle- 「疑う」	>sežigle-gd- 「疑われる」
serd- 「疑う」	>serde-gd- 「疑われる」

<sup>14</sup> (42)のうち, *xajrla-gd-*「愛される」, *magta-gd-*「褒められる」は, 行為主が不特定多数の人である必要がある。(行為主が不特定多数となる必要がある能動対応のGD動詞文の存在は, ブヤン・アリオナ (2004) で既に指摘されている。)

- (i-a) \*Bat Tujaa-d **xajrla-gd-dag.**  
(男性) (女性)-DAT 愛する-PASS-VN.HAB  
(バトはトヤーに愛されている)
- (i-b) Tujaa Bat-yg **xajrla-dag.**  
(女性) (男性)-ACC 愛する-VN.HAB  
「トヤーはバトを愛している」
- (i-c) Ard түмн-ижг Manž-ijn darlal-aas avar-san ter  
人民-ACC 満州-GEN 压制-ABL 救う-VN.PAST その  
baatar am'd burxan xemeen ard түмн-d  
英雄 生きている 仏 ~と 人民-DAT  
olon arvan žil **xajrla-gd-san.**  
多い 10 年 愛する-PASS-VN.PAST  
「人民を清朝の支配から救ったその英雄は生き仏として人民に何十年も愛された」
- (ii-a) \*Bold bagš-d-aa **magta-gd-san.**  
(男性) 先生-DAT-REFL 褒める-PASS-VN.PAST  
(ボルドは先生に褒められた)
- (ii-b) Bagš Bold-yg **magt-san.**  
先生 (男性)-ACC 褒める-VN.PAST  
「先生はボルドを褒めた」
- (ii-c) Zoxiolč A Mongol-yn xamgijn šildeg zoxiolč-d-yn  
作家 モンゴル-GEN 最も 優れた 作家-PL-GEN  
neg gež ard түмн-d **magta-gd-dag.**  
I ~と 民衆-DAT 褒める-PASS-VN.HAB  
「作家 A 氏はモンゴルで最も優れた作家の一人であると民衆に賞賛されている」

taal- 「(人, 物を) 気に入る」	>taala-gd- 「(人, 物が) 気に入られる」
taašaa- 「賞賛する, 賛同する」	>taašaa-gd- 「賞賛される, 賛同される」
tat- 「(人を) 魅了する」	>tata-gd- 「(人が) 魅了される」
tooc- 「見なす, 評価する」	>tooco-gd- 「見なされる, 評価される」
too- 「価値を認める」	>too-gd- 「価値を認められる」
xajrla- 「愛する」	>xajrla-gd- 「愛される」
ügüjsge- 「(人の喋った言葉の 内容を) 否定する」	>ügüjsge-gd- 「(人の喋った言葉の 内容が) 否定される」
magt- 「褒める」	>magta-gd- 「褒められる」
šüümžil- 「批判する」	>šüümžle-gd- 「批判される」
šagna- 「賞を授与する」	>šagna-gd- 「(人が) 賞を与えられる」
demž- 「(人を) 支持する」	>demži-gd- 「(人が) 支持される」
(basamžil- 「侮蔑する」)	(>basamžla-gd- 「侮蔑される」)
(gaduurx- 「仲間外れにする」)	(>gaduurxa-gd- 「仲間外れにされる」)
(šool- 「嘲笑する」)	(>šoolo-gd- 「嘲笑される」)

ただし、コンサルタントによっては、上の(42)に挙げた GD 動詞のうち *basamžil*-「侮蔑する」、*gaduurx*-「仲間外れにする」、*šool*-「嘲笑する」から派生した GD 動詞の、能動対応の GD 動詞文での使用を認めない者もいる。(そのためこの3つは、(42)では括弧に入れて示した。)以下の例は、これらの能動動詞から派生した GD 動詞を、能動対応の GD 動詞文で用いることを認めるコンサルタントから得られた例である。

- (43a) Bat        Dorži-d        **basamžla-gd-san.**  
 (男性) (男性)-DAT    侮蔑する-PASS-VN.PAST  
 「バトはドルジに侮蔑された」
- (43b) Dorž        Bat-yg        **basamžil-san.**  
 (男性) (男性)-ACC    侮蔑する-VN.PAST  
 「ドルジはバトを侮蔑した」

#### 4.6. 知覚・認識

知覚・認識を表す能動動詞から派生した GD 動詞も、能動対応の GD 動詞文で用いられる。(知覚・認識を表す能動動詞から派生した GD 動詞が現れる GD 動詞文は、主語名詞句の指示対象が与位格名詞句の指示対象に「自ずと」感じられるという、自発の意味を表すことが多いようである。)

- (44a) Čamd ter ulaan bajšin xara-gda-ž  
 君.DAT あの 赤い 建物 見る-PASS-CV.IMPF  
 baj-na uu?  
 いる-TV.NP QP  
 「あの赤い建物, 見える?」
- (44b) Či ter ulaan bajšin-g xar-č  
 君 あの 赤い 建物-ACC 見る-CV.IMPF  
 baj-na uu?  
 いる-TV.NP QP  
 「あの赤い建物, 見える?」
- (45a) Biden-d axmad-uud-yn gav'jaa zütgel  
 我々-DAT 年長者-PL-GEN 功績 努力  
 dursa-gda-ž baj-na.  
 回顧する-PASS-CV.IMPF いる-TV.NP  
 「我々には年長者の功績や努力が回顧されている (思いしのはば  
 れる)」
- (45b) Bid axmad-uud-yn-xaa gav'jaa zütgel-ijg  
 我々 年長者-PL-GEN-REFL 功績 努力-ACC  
 dursa-ž baj-na.  
 回顧する-CV.IMPF いる-TV.NP  
 「我々は年長者の功績や努力を回顧している」

この他, 以下のものがここに分類される。

- (46)
- |         |            |              |                |
|---------|------------|--------------|----------------|
| üz-     | 「見る」       | > üze-gd-    | 「(ある現象が) 見られる」 |
| med-    | 「(事実を) 知る」 | > mede-gd-   | 「(事実が) 知られる」   |
| meder-  | 「感じる」      | > medre-gd-  | 「感じられる」        |
| ojlgo-  | 「理解する」     | > ojlgo-gd-  | 「理解される」        |
| sana-   | 「思い出す」     | > sana-gd-   | 「思い出される」       |
| bod-    | 「思う」       | > bodo-gd-   | 「思われる」         |
| tan'-   | 「見知っている」   | > tani-gd-   | 「知られる」         |
| ažigla- | 「観察する」     | > ažigla-gd- | 「観察される」        |

## 4.7. その他

ここでは、4.1～4.6 節で挙げた分類に当てはまらない例を挙げる。

*xalxal-*「遮る」 > *xalxla-gd-*「遮られる」

- (47a) Gurvan saĵan uul bitüü üül manan-d  
(地名) 山 閉じた 雲 霧-DAT

**xalxla-gda-ž ...**

遮る-PASS-CV.IMPF

「ゴルバンサイハン山は一面の雲と霧に遮られ...」(ZUUN 2001/10/27)

- (47b) Gurvan saĵan uul-yg bitüü üül manan  
(地名) 山-ACC 閉じた 雲 霧

**xalxal-ž ...**

遮る-CV.IMPF

「ゴルバンサイハン山を一面の雲と霧が遮り...」

*id-*「食食物にする」 > *ide-gd-*「食食物にされる」

- (48a) Ard tümn-ij tatvar-yn möngö erx barigč-da-d  
人民-GEN 税-GEN お金 権力者-PL-DAT

**ide-gde-ž**

baj-na.

食べる-PASS-CV.IMPF いる-TV.NP

「人民の税金が権力の座にある者達によって食食物にされている」

- (48b) Ard tümn-ij möng-ijg erx barigči-d **ide-ž**  
人民-GEN お金-ACC 権力者-PL 食べる-CV.IMPF  
baj-na.

いる-TV.NP

「人民のお金を権力の座にある者達が食食物にしている」(人民のお金で私腹を肥やしている)

なお、*id-* は「(食べ物)を 食べる」という意味では、能動対応の GD 動詞文で用いられない。(また、(49b)のように、能動非対応 GD 動詞文でも用いられない。)



- (49a) \*Tul zagas manaj sumynxan-d ix **ide-gd-deg.**  
 イトウ 我が 村民-DAT 多い 食べる-PASS-VN.HAB  
 (イトウ (魚) はうちの村民によく食べられる)
- (49b) \*Tul zagas ene xavi-ar ix **ide-gd-deg.**  
 イトウ この 辺り-INST 多い 食べる-PASS-VN.HAB  
 (イトウはこの辺りでよく食べられる)
- (49c) Manaj sumynxan tul zagas ix **id-deg.**  
 我が 村民 イトウ 多い 食べる-VN.HAB  
 「うちの村民はイトウをよく食べる」

*unš-*「読む」 > *unši-gd-*「読まれる」<sup>15</sup>

- (50a) Ene nom zuun mjanggan xün-d **unši-gd-san**  
 この 本 100,000 人-DAT 読む-PASS-VN.PAST  
 baj-na.  
 いる-TV.NP  
 「この本は 10 万人に読まれた」
- (50b) Ene nom-yg zuun mjanggan xün **unš-san**  
 この 本-ACC 100,000 人 読む-VN.PAST  
 baj-na.  
 いる-TV.NP  
 「この本を 10 万人が読んだ」

<sup>15</sup> *unši-gd-* が現れる GD 動詞文では、行為主は不特定多数の人である必要がある。特定の行為主を表す与位格名詞句 *manaj angijn bagšid*「担任の先生に」が現れている以下の(a)は許容されない。

- (a) \*Minij bič-sen ödr-ijn temdeglel manaj  
 私.GEN 書く-VN.PAST 日-GEN メモ 我が  
 angi-jn bagši-d unši-gd-san.  
 クラス-GEN 先生-DAT 読む-PASS-VN.PAST  
 (私の書いた日記が担任の先生に読まれた)
- (b) Manaj angi-jn bagš minij bič-sen  
 我が クラス-GEN 先生 私.GEN 書く-VN.PAST  
 ödr-ijn temdeglel-ijg unš-san.  
 日-GEN メモ-ACC 読む-VN.PAST  
 「担任の先生は私の書いた日記を読んだ」

*ašigla-*「利用する」 > *ašigla-gd-*「利用される」

- (51a) Ene nomyn san nuu-gda-x gazar bolon  
 この 図書館 隠す-PASS-VN.NP 場所 ~として  
 tjeroriste-d tavan žil-ijn turš **ašigla-gd-san.**  
 テロリスト-DAT 5 年-GEN ~の間 利用する-PASS-VN.PAST  
 「この図書館は隠れ場所としてテロリストに5年間使われた」
- (51b) Tjerorist ene nomyn san-g nuu-gda-x gazar  
 テロリスト この 図書館-ACC 隠す-PASS-VN.NP 場所  
 bolgon tavan žil-ijn turš **ašigla-san.**  
 ~として 5 年-GEN ~の間 利用する-VN.PAST  
 「テロリストはこの図書館を隠れ場所として5年間使った」

## 5. まとめ

本稿では、能動対応の GD 動詞文で用いられる GD 動詞を列挙した。ここに示した GD 動詞は、(4.7 節に挙げたいくつかのものを除けば)、意味的な観点から「勢力下に置くことを表す能動動詞から派生したもの」「召喚、追放することを表す能動動詞から派生したもの」「包囲・包含することを表す能動動詞から派生したもの」「殺害することを表す能動動詞から派生したもの」「価値判断を下すこと、感情を抱くことを表す能動動詞から派生したもの」「知覚・認識を表す能動動詞から派生したもの」の6つのグループに大きく分けられる。

このように、ある特定の意味を表す能動動詞から派生した GD 動詞のみが、能動対応の GD 動詞文で用いられることが明らかになった。しかし、なぜ、そのような一部の GD 動詞だけが能動対応の GD 動詞文で用いられるのか、その理由についてはまだ分かっていない。今後の課題として記述を進めたい。

## 出典

ZUUN: 日刊紙 *Zuuny Medee* インターネット版

略号の後の数字は日付を表す。上記略号の記載がないものは、コンサルタントによる作例である。

## 略号

2ND	second person 二人称	INST	instrumental 造格
3RD	third person 三人称	MP	modal particle モダリティ小辞
ABL	ablative 奪格	NEG	negative 否定
ACC	accusative 対格	NP	non-past 非過去
ASS	associative 連合	PASS	passive 受身
CAUS	causative 使役	PAST	past 過去
COMP	completive 完成	PERF	perfective 完了
CV	converb 副動詞語尾	PL	plural 複数
DAT	dative-locative 与位格	POSS	possessive particle 所有小辞
FP	focus particle 焦点を表す小辞	QP	question particle 疑問小辞
GEN	genitive 属格	REFL	reflexive possessive 再帰所有
HAB	habitual 習慣	TV	terminating verbal 終止語尾
IMPF	imperfective 未完了	VN	verbal nominal 形動詞語尾

## 参考文献

- Bese, L. (1968) On Khalkha preverbs. *Acta Orientalia* 21: 225-235.
- ブヤン・アリオナ (2004) 「日本語とモンゴル語の受身文、可能文の対照比較研究—接尾辞「～(ら)れる」と「-GD-」の本質をめぐって—」修士論文, 広島大学.
- Dixon, R.M.W. and Alexandra Y. Aikhenvald (2000) Introduction. In: R.M.W. Dixon and Alexandra Y. Aikhenvald (eds.) *Changing valency: Case studies in transitivity*, 1-29. Cambridge: Cambridge University Press.
- Galsan, S. (1975) *Sopostavitel'naja grammatika russkogo i mongol'skogo jazykov: Fonetika i morfologija, čast' I*. Ulan-Bator: Izdatel'stvo Ministerstva Narodnogo Obrazovanija MNR.
- 呉人徳司 (2006) 「モンゴル語諸方言における受身と使役について」『ユーラシア諸言語の研究』刊行会(編)『庄垣内正弘先生退任記念論集 ユーラシア諸言語の研究』81-92. 京都: 中西印刷.
- Sanžeev, G. D. (1963) *Sravnitel'naja grammatika mongol'skix jazykov: Glagol*. Moskva: Nauka.
- 梅谷博之 (2008) 「モンゴル語の使役接辞 -UULと受身接辞 -GDの意味と構文」博士論文, 東京大学.

## **Passive sentences that have corresponding active sentences in Mongolian**

Hiroyuki UMETANI  
(University of Tokyo)

This article deals with verbs derived from the attachment of the passive suffix *-GD* (GD verb) in Mongolian. Sentences where the GD verb appears (GD sentences) are of two sorts: GD sentences that have corresponding active sentences on one hand, and those that do not on the other. We focus on the former kind of GD sentence and point out that GD verbs that appear in such GD sentences are derived from certain kinds of base verbs. Such base verbs include those denoting (1) putting the patient under the control of the agent (for example, verbs expressing (1-1) capturing or detention, (1-2) ruling, (1-3) winning, (1-4) deception), (2) summoning or expelling, (3) encirclement or inclusion, (4) killing, (5) value judgment or emotion, and (6) perception or recognition.